



「こんにちは 市長です」

9月10日号

太陽光発電が周囲に及ぼす影響はどうか、そんな実験をしたいと経産省（外郭団体のNEDO）が言っていることを聞きつけ「それは太田でやりましょうよ」と名乗りを上げた。十四、五年前のこと、「パルタウン城西の杜」を造ることを決めたタイミングだった。住宅団地を手掛けたのは初めてで私的には興奮していたし、何か付加価値をと考えていた矢先のことである。国が太田市に決めてくれた。「これで団地は売れる」と確信した。太陽光発電は太田市がトップランナーであった。視察は多かったし海外の雑誌にも先進事例としてパルタウンが紹介された。

政府は「FIT（フィット）」という制度で、売電単価 48円/kwhで自然エネルギー普及を図った。10年以内で元は取れるという価格設定だ。太田市で4800kw（千軒分相当）、パルタウンを含む補助金を使った家庭分で1万3100kw（二千五百軒分相当）、この他企業などの大規模なものも含めればかなりの発電をしている。いよいよ10年の「FIT」制度が順次切れてくる。せっかくの自然エネルギーだから「つくった電気を自分のまちで使おう」というのをやりたい。おおた電力（株）に出資したのはそのため。当初予算に150万円計上した。家庭からの電力買い上げは10円/kwh（ちなみに東電は8・5円）、市の関係する全ての施設に電力供給できればよかったのだけど試行として市民会館、美術館・図書館、エアリスを地産地消で行う。9月中には募集を開始する予定だ。

ラグビーワールドカップ、20日のロシア戦を皮切りにイオンシネマで無料放映しますが、おかげさまで4日間満席になりました。予選に勝って決勝トーナメントに出れば続けて迫力画面をお届けしますのでご期待ください。